

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 洛和福祉会	代表者	矢野 裕典	法人・ 事業所 の特徴	平成24年4月に開設した事業所でありご利用者もスタッフも明るい事業所です。グループとしては2番目の小規模多機能事業であり、事業所間の情報交換・連携も行っています。レクリエーションや行事に力を入れており皆さん楽しんでくださっています。ご利用者やご家族の意向を大切にし、柔軟な対応や一人一人の「やってみたい！」を実現できるような支援を心掛けております。
事業所名	洛和小規模多機能 サービス山科西野	管理者	大西 ひとみ		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	1人	人	人	1人	1人	人	1人	4人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	新規利用者の情報収集など、継続的に行っていく。 記録などもしっかり残し、職員間での情報共有を行う。	新規利用者の情報共有などは出来ている。また、契約時など他の職員も同行出来る時は行き、事前に情報を得る事が出来ている。	日々の業務に加え、しっかり情報共有が出来ていると感じました。	新規利用者の情報収集など、継続的に行っていく。 利用開始になってからも新たな気づきを共有しケアに繋げる。
B. 事業所のしつらえ・環境	利用者さんの得意分野を活かし、一緒に飾りつけを作成・飾りつけを行って行く。	季節に合わせた飾りつけを一緒に作成し、玄関からも季節感を感じる事が出来るよう工夫している。	日中の鍵について防犯の必要性がある時は一時的に鍵を掛けるのもやむを得ないと感じました。	季節感のある飾りつけなど継続的に行い、過ごしやすい空間にしていく。
C. 事業所と地域のかかわり	オレンジトライアングルの活動再開や地域行事なども利用者さんと一緒に参加していく。	オレンジトライアングルの活動は行えていないが、地域行事の参加や交流が再開することが出来ている。	感染に気を付けながらも地域行事が出来るようになりました。オレンジトライアングルの活動もしていきたいですね。	オレンジトライアングルや地域に向けた取り組みなど、再開を目指して行っていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	情報交換の場などに参加する機会を増やしていく。	情報交換の場への参加が出来るようになった。	会議なども出来るようになってきたので、コロナ前のように参加してもらえると嬉しいです。	地域の集まりなど、他の職員や利用者さんと参加出来る場を増やしていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	地域の方と顔つなぎが出来るような取り組みに参加できるようにする。	対面で行う事が出来るようになり、管理者だけでなく他の職員も参加することが出来た。	運営推進会議で久しぶりに事業所内に入る事が出来て、職員さんだけでなく、中の雰囲気も見れました。またお願いします。	顔の見える関係作りの為にも他の職員にも参加してもらおう。

F. 事業所の 防災・災害対策	地域の方にもどういった取り組みをしているかなど情報発信を行う	必要最低限の人数で行い、消防の方にも来ていただけるようになり、実際に行う事が出来た。	お忙しいかと思いますが、防災訓練など参加してもらえると、顔の見える関係が再構築できるのではないかと思います。	他事業所の訓練や地域の消防訓練なども参加し、顔の見える関係作りを行っていく。
--------------------	--------------------------------	--	--	--